

第3回 三重のふるさとシンポジウム開催要領

○開催趣旨

豊かな地域資源に恵まれる三重県の中山間地域は、多くの地域住民のみなさまの活動によって守られています。その活動を支える施策に関する情報を、さまざまな立場の実践者が報告し、意見交換することで、さらに有効な地域振興につなげていくことを目的に、シンポジウムを開催します。

○開催場所

三重県伊賀庁舎7階大会議室（伊賀市四十九町2802）

○日時

平成28年3月12日（土） 13：30～（受付・開場 13：00～）

○主催 三重県

○参加費 無料

○プログラム

1) 開会・挨拶 13：30～13：35

2) 基調講演 13：35～14：35

◇基調講演テーマ（60分）

『村をデザインしよう 上ノ村縁結びプロジェクト』

講師：木村和正氏（上ノ村環境保全プロジェクト事務局）

津市白山町上ノ村において、多面的機能支払の活動などをおした地域活性化の仕掛け人。ていねいな合意形成のもと企業や学生など外部の力も借りながら地域おこしや獣害対策など幅広く取り組んでいます。事例を交えながらその仕掛けと地域としての考え方を伝えます。

3) 県外優良事例紹介

(有) 甲賀もち工房 代表取締役 河合定郎氏（40分） 14：35～15：15

滋賀県甲賀市の中山間地域、小佐治地区におけるもち米を生かした地域活性化事例について紹介していただきます。品質の良いもち米が収穫できる小佐治地区は、「もちを特産品に」を合い言葉に、地域住民が創意工夫をこらし、生産から加工、販売に取り組んできた6次産業化の草分け的存在です。

4) 県内活動報告 (45分)

15:15~16:00

①伊賀管内中山間地域等直接支払交付金事業 (30分)

名張市南古山集落

伊賀市西湯舟集落

中山間地域は農地の傾斜がきつく生産条件が不利なため、耕作放棄地発生の可能性が高い地域ですが、「中山間地域等直接支払交付金」を活用して農地を守る活動を続けている伊賀地域の2集落の事例を報告します。

②ふるさと・水と土保全対策事業 (松阪市) (15分)

地域散策マップ「櫛田川ゆうゆうウォーキングマップ」作成チーム

松阪市飯南町の農村・粥見地区において、ウォーキングファンを誘客するための絵地図を作成。住民や学生らが作成したマップは、地域の魅力を余すところなく伝えています。改めて見つけた地域の宝物や、マップの活用などについて報告します。

参加申込書

お申し込みは、電話で参加者をお知らせいただくか、表に記入のうえ、郵送、FAX、電子メール等で送付してください。

お名前	所属

お申し込み・お問い合わせ

三重県農林水産部 農業基盤整備課 農地水保全班

〒514-8570 津市広明町13番地

E-mail:nokiban@pref.mie.jp

TEL:059-224-2551

FAX:059-224-3153